

※「その他」が20%を越えた設問については、その自由回答をカテゴライズし、そのうち代表的なもの(1%以上)を記載している。
 ※「無回答」には無効回答を含む

東日本大震災における原子力発電所事故に伴う 避難に関する実態調査



政府統計

ご回答(調査票のご記入)にあたっては下記のとおりお願いいたします。

- ・この調査票は、本調査票の宛名ご本人様がお答えください。
- ・選択式の質問は、当てはまると思われる選択肢の番号を○で囲み、かつこ内の記入が必要な場合は、具体的な内容をご記入ください。
- ・選択式の質問は、「○は1つ」「○はいくつでも」と選択する数を指定しております。
- ・ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご投函くださいますようお願い申し上げます。

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

I. 震災当時の住居についてお聞きします。

福島県南相馬市 (24.9%) 福島県いわき市 (3.0%)
 福島県双葉郡浪江町 (18.4%) 福島県福島市 (2.6%)
 福島県双葉郡富岡町 (13.0%) 福島県双葉郡広野町 (2.3%)
 福島県双葉郡大熊町 (9.5%) 福島県双葉郡川内村 (1.6%)
 福島県双葉郡楢葉町 (6.1%) 福島県田村市 (1.4%)
 福島県双葉郡双葉町 (4.6%) 福島県双葉郡葛尾村 (1.2%)
 福島県相馬郡飯舘村 (4.2%) 福島県伊達郡川俣町 (1.1%)
 福島県郡山市 (3.6%) その他 (1.3%)
 (無回答 1.2%)

問 1 震災当時(平成 23 年 3 月 11 日時点)にあなたがお住まいだった住所の郵便番号をご記入ください。もし、郵便番号がご記憶にない場合は、ご住所を町丁目・字までご記入ください。(N=19,535)

【郵便番号】

—

又は

【ご住所】〇〇市など

〇〇1 丁目など

問 2 その住宅の所有形態についてお答えください。(○は1つ) (N=19,535)

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 1. 持ち家(区分所有を含む) (80.7%) | 4. 給与住宅(社宅、社員寮、公務員住宅など) (1.9%) |
| 2. 借家・民間賃貸住宅 (11.0%) | 5. 間借り (0.7%) |
| 3. 公営住宅 (3.6%) | 6. その他(具体的に: (1.6%)) |
| (無回答 0.5%) | |

問 3 その住宅の被害状況についてお答えください。(○はいくつでも) (N=19,535)

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 地震・津波で全壊した (6.2%) | |
| 2. 地震・津波で半壊した (17.4%) | |
| 3. 不在中に傷んだ(雨漏りなど) (48.1%) | |
| 4. 不在中に泥棒などに侵入された (13.0%) | |
| 5. 特段の影響はなかった (24.0%) | |
| 6. その他(具体的に: (24.0%)) | (一部損壊 (11.8%)
カビ・ネズミ等の動物被害 (8.1%)
放射能汚染 (1.6%)) |
| (無回答 1.4%) | |

問 4 震災当時(平成 23 年 3 月 11 日時点)、そこに何年住んでいましたか。(○は1つ) (N=19,535)

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 1. 10 年未満 (22.1%) | 3. 20 年以上 30 年未満 (14.7%) | 5. 40 年以上 50 年未満 (9.9%) |
| 2. 10 年以上 20 年未満 (15.0%) | 4. 30 年以上 40 年未満 (12.8%) | 6. 50 年以上 (25.5%) |
| (無回答 0.4%) | | |

問 5 震災当時(平成 23 年 3 月 11 日時点)、あなたは近所の方とどの程度のお付き合いがありましたか。(○は1つ) (N=19,535)

- | |
|------------------------------------|
| 1. ほぼ毎日顔を合わせ、お互いの家を行き来する程度 (38.1%) |
| 2. 留守を頼んだり親しく話をしたりする程度 (12.5%) |
| 3. とときどき立ち話をする程度 (28.0%) |
| 4. 顔が合えばあいさつをする程度 (17.7%) |
| 5. ほとんど付き合いがなかった (2.1%) |

(無回答 1.6%)

Ⅱ. 平成 23 年 3 月 11 日から 4 月 30 日にかけての状況について伺います。

全員の方に伺います。

問 6 東日本大震災の発生後、平成 23 年 3 月 11 日から 3 月 12 日にかけて、原発に関する次のような情報が発表されました。あなたは、これらの情報を 3 月 12 日までの間に入手しましたか。
(○はいくつでも) (N=19,535)

1. 原子力緊急事態宣言 (3 月 11 日 19 時 18 分) (16.5%)
2. 福島第一原発から半径 3km 圏内への避難指示 (3 月 11 日 21 時 23 分) (15.6%)
3. 福島第一原発から半径 3～10km 圏内への屋内退避指示 (3 月 11 日 21 時 23 分) (18.8%)
4. 福島第一原発から半径 10km 圏内への避難指示 (3 月 12 日 05 時 44 分) (37.7%)
5. 福島第一原発 1 号機の爆発 (3 月 12 日 15 時 36 分) (38.5%)
6. 福島第一原発から半径 20km 圏内への避難指示 (3 月 12 日 18 時 25 分) (37.5%)
7. いずれの情報も入手しなかった (26.0%)⇒問 9 へお進みください

(無回答 2.5%)

問 7 (問 6 で「1」～「6」とお答えの方に伺います)

あなたはその情報を、何から知りましたか。(○はいくつでも) (N=13,953)

1. テレビ・ラジオ (49.9%)
2. 自治体等(市町村役場、区長、班長)からの連絡 (43.3%)
3. 警察からの連絡 (3.0%)
4. 東京電力又は関連会社からの連絡 (2.3%)
5. 家族・近隣住民からの連絡 (28.8%)
6. その他からの連絡(具体的に: (12.2%))

(無回答 1.3%)

問 8 (問 6 で「1」～「6」とお答えの方に伺います)

その情報を知ったとき、あなたはどのように感じましたか。(○はいくつでも) (N=13,953)

1. 自分や家族の身に危険が及ぶかもしれない (51.3%)
2. 早く避難しなければならない (57.6%)
3. 数箇月は家に帰れないかもしれない (18.1%)
4. どこに避難すればよいか分からない (47.7%)
5. 避難しなくても良いのか分からない (16.6%)
6. 何が起きたのかよくわからない (39.0%)
7. すぐに家に帰れるだろう (44.5%)
8. 大したことはないだろう (22.9%)
9. 特に何も感じなかった (0.8%)
10. その他(具体的に: (7.4%))

(無回答 1.3%)

全員の方に伺います。

問 9 福島第一原子力発電所事故が発生した平成 23 年 3 月 11 日から 4 月 30 日までの間に、あなたは原発事故のために避難しましたか。(○は 1 つ) (N=19,535)

1. 避難した (93.1%) ⇒ 問 10 へお進みください
2. 避難していない (6.9%) ⇒ 問 16 へお進みください

(無回答 0.0%)

問 10 (問 9 で「1」とお答えの方に伺います)

その際、どのような情報が役に立ちましたか。(○はいくつでも) (N=18,180)

1. テレビ・ラジオの情報 (59.1%)
2. インターネットの情報(公的機関・報道機関からの情報) (4.9%)
3. インターネットの情報(その他) (4.5%)
4. メールの情報 (4.4%)
5. 自治体等(市町村役場、区長、班長)からの電話や呼びかけ (34.1%)
6. 警察・自衛隊からの電話や呼びかけ (4.0%)
7. 東京電力又は関連会社からの電話や呼びかけ (1.3%)
8. 家族・近隣住民からの電話や呼びかけ (28.7%)
9. 親戚からの電話や呼びかけ (22.0%)
10. 知人からの電話や呼びかけ (19.1%)
11. その他(具体的に: (8.6%))

(無回答 1.0%)

問 11 (問 9 で「1」とお答えの方に伺います) (N=18,180)

原発事故からはじめて避難するとき、あなたはどこにいましたか。(市区町村名)

(市区町村名が不明な場合は、都道府県名をご記入ください。)

市区町村名

(又は都道府県名)

福島県南相馬市 (20.3%)
福島県双葉郡浪江町 (14.8%)
福島県双葉郡富岡町 (8.8%)
福島県双葉郡大熊町 (7.0%)
福島県いわき市 (5.1%)
福島県双葉郡楢葉町 (4.0%)
福島県双葉郡双葉町 (3.5%)
福島県双葉郡川内村 (3.2%)
福島県福島市 (3.2%)
福島県田村市 (3.0%)
福島県郡山市 (2.8%)
福島県双葉郡広野町 (1.7%)
福島県相馬郡飯館村 (1.6%)
福島県伊達郡川俣町 (1.4%)
福島県双葉郡葛尾村 (1.0%)
その他福島県内 (4.4%)
福島県外 (5.6%)

(無回答 8.5%)

問 12 (問 9 で「1」とお答えの方に伺います)

そこは、どのような場所ですか。(○は 1 つ) (N=18,180)

1. 事故発生時に住んでいた自宅 (38.4%)
2. 商業施設 (1.0%)
3. 病院、福祉・介護施設 (2.2%)
4. 祖父母、親、子供又は孫の家 (7.8%)
5. 親戚の家 (11.5%)
6. 知人の家 (2.9%)
7. 宿泊施設 (1.9%)
8. 避難所 (20.3%)
9. その他(具体的に: (9.8%))

(無回答 4.4%)

問 13 (問 9 で「1」とお答えの方に伺います)

その場所から出発した日時をお答えください。 (N=18,180)

平成 23 年

3・4
(どちらかに○)

月

日

午前・午後
(どちらかに○)

時頃

3 月 11 日 (6.1%)
3 月 12 日 (50.3%)
3 月 13 日～15 日 (23.2%)
3 月 16 日～31 日 (14.4%)
4 月 1 日～21 日 (0.9%)
4 月 22 日～30 日 (0.5%)
(無回答 4.6%)

問 14 （問 9 で「1」とお答えの方に伺います）(N=18,180)

平成 23 年 3 月 11 日から 4 月 30 日までの間の避難行動について伺います。

1. 3 月 11 日から 4 月末までの間に何箇所の避難先に行きましたか。箇所数をお答えください。（例えば、7 か所の避難先に行った場合は「7」とお答えください。）

この間に

(平均 3.36 か所)

か所の避難先に行った

1 か所 (13.7%) 5 か所 (11.2%)
2 か所 (20.2%) 6 か所 (5.8%)
3 か所 (22.7%) 7 か所 (3.2%)
4 か所 (17.4%) 8 か所以上 (2.0%)
(無回答 3.8%)

2. 避難先の変更について以下の質問にお答えください。

(1)まず、避難先の住所とその場所についてお答えください。6 か所以上の方は、主な避難先 5 つ（滞在期間の長かった避難先や大幅な移動を伴った避難先など）についてお答えください。

	避難先の住所 (市町村名を記入) 〔※注〕	避難先の場所 (右の選択肢の 番号を 1 つ記入)	選択肢
記入例	(福島市)	(1)	
1 か所目	1 か所目 N=15,871	2 か所目 N=13,443	3 か所目 N=10,459
2 か所目	4 か所目 N=6,918	5 か所目 N=3,960	
3 か所目	1 4.5%	1.1%	0.7%
4 か所目	2 1.7%	2.4%	0.8%
5 か所目	3 2.3%	1.8%	0.9%
6 か所目	4 13.4%	11.6%	11.7%
7 か所目	5 19.6%	23.0%	21.0%
8 か所目	6 5.2%	7.1%	6.2%
9 か所目	7 4.0%	9.1%	14.6%
10 か所目	8 39.9%	32.9%	24.7%
11 か所目	9 9.5%	11.0%	21.3%
12 か所目			33.1%

※注：福島県外の場合も市町村名のみで結構です

※注：福島県外の場合も市町村名のみで結構です

(2)次に、それぞれの避難先についた時期と、その場所に避難した理由についてお聞きします。

	その場所に 着いた時期 (月・日を記入)	その場所に 避難した理由 (右の選択肢から 3 つまで番号を記入)	選択肢
記入例	(3 月 1 3 日)	(1 , 3 , 4)	
1 か所目	月 日	, ,	1. 行政から指示された場所だったから
2 か所目	月 日	, ,	2. より安全だと思ったから
3 か所目	月 日	, ,	3. より生活がしやすいと思ったから
4 か所目	月 日	, ,	4. 家族・親戚を頼れると思ったから
5 か所目	月 日	, ,	5. 知人を頼れると思ったから
6 か所目			6. 受入可能な避難所があったから
7 か所目			7. そこしかなかったから
8 か所目			8. その他

時 期	1 か所目 N=17,132	2 か所目 N=14,499	3 か所目 N=10,901	4 か所目 N=6,807	5 か所目 N=3,512	選択肢 (理由)	1 か所目 N=16,525	2 か所目 N=13,881	3 か所目 N=10,773	4 か所目 N=7,052	5 か所目 N=4,032
3/11	17.3%	1.3%	0.3%	0.4%	0.8%	1	38.6%	27.3%	20.2%	19.1%	21.6%
3/12	47.8%	21.4%	5.0%	1.0%	0.5%	2	27.2%	28.6%	26.0%	21.6%	17.2%
3/13～15	21.9%	40.4%	31.4%	16.0%	6.3%	3	7.7%	11.0%	14.6%	17.5%	22.8%
3/16～31	12.2%	29.5%	45.3%	52.2%	45.0%	4	31.3%	33.4%	34.7%	31.9%	23.6%
4/1～21	0.5%	5.9%	14.6%	23.8%	35.8%	5	6.3%	8.2%	8.7%	7.5%	6.0%
4/22～30	0.3%	1.5%	3.3%	6.5%	11.6%	6	16.4%	17.4%	16.8%	17.6%	17.1%
						7	28.4%	21.7%	20.6%	21.8%	24.5%
						8	7.3%	8.7%	11.4%	14.5%	20.2%

問 15 (問 9 で「1」とお答えの方に伺います)

平成 23 年 3 月 11 日から 4 月 30 日までの間に、避難にあたって困ったことは何ですか。(〇は
いくつでも) (N=18,180)

1. どこに避難すればよいかについての情報がなかった (57.7%)
2. 行政から避難に関する情報が得られなかった (49.7%)
3. 空いている避難所が見つからなかった (17.9%)
4. 行政から指示された避難所が満杯だった (18.8%)
5. 介護が必要だったり、障がいや持病を持つ家族がいて容易に移動できなかった (15.9%)
6. 防犯のために留守宅の管理が必要だった (6.2%)
7. 家畜や農作物への対応が必要だった (3.4%)
8. ペットへの対応が必要だった (21.3%)
9. ガソリンが不足した (74.3%)
10. 道路が渋滞・損壊していた (42.3%)
11. 携帯電話が繋がらなかったり、充電できなかったりして使えなかった (51.8%)
12. 食料や飲料、生活用品が入手できなかった (57.7%)
13. その他(具体的に: (15.8%))

(無回答 2.5%)

平成 23 年 3 月 11 日～4 月 30 日の間に避難しなかった方に伺います。

問 16 (問 9 で「2」とお答えの方に伺います)

あなたが、平成 23 年 3 月 11 日から 4 月 30 日までの間に、避難しなかった(自宅から離れ
なかった)理由は何ですか。(〇はいくつでも) (N=1,347)

1. 自宅にいても安全だと思ったから (21.2%)
2. 行政が避難を呼びかけている地域ではなかったから (43.4%)
3. 放射性物質による汚染は問題ないと思っていたから (14.6%)
4. 避難を判断できるほどの情報がなかったから (41.4%)
5. どこに避難すればいいのかわからなかったから (38.6%)
6. 家族と相談して避難は不要と判断したから (5.0%)
7. まわりの人が避難していなかったから (20.3%)
8. 自宅や地域に愛着があったから (8.4%)
9. 家族に要介護者などがいたから (7.8%)
10. 防犯のために留守宅の管理が必要だったから (3.3%)
11. ペットがいたから (15.7%)
12. 家畜がいたから (9.9%)
13. 仕事の都合があったから (36.2%)
14. 避難してきた人たちを支援していたから (10.0%)
15. その他(具体的に: (23.8%))

立場上の問題 (3.8%)
災害弱者の同伴 (3.2%)
自己都合・自己判断 (3.0%)
政府・行政の説明・指示 (2.9%)
情報収集が困難 (2.1%)
避難場所が未決定 (1.3%)
ガソリン不足など移動手段なし (1.2%)
発災当時に不在 (1.1%)

(無回答 1.4%)

問 17 (問 9 で「2」とお答えの方に伺います)

その際、どのような情報が参考になりましたか。(〇はいくつでも) (N=1,347)

1. テレビ・ラジオの情報 (69.6%)
2. インターネットの情報(公的機関・報道機関からの情報) (11.4%)
3. インターネットの情報(その他) (11.9%)
4. メールの情報 (3.9%)
5. 自治体等(市町村役場、区長、班長)からの電話や呼びかけ (24.9%)
6. 警察・自衛隊からの電話や呼びかけ (1.9%)
7. 東京電力又は関連会社からの電話や呼びかけ (2.7%)
8. 家族・近隣住民からの電話や呼びかけ (14.5%)
9. 親戚からの電話や呼びかけ (11.7%)
10. 知人からの電話や呼びかけ (15.9%)
11. その他(具体的に: (9.1%))

(無回答 10.2%)

屋内退避やスクリーニング、ヨウ素剤について伺います。

全員の方に伺います。

問 18 政府は平成 23 年 3 月 11 日から 3 月 15 日にかけて、福島第一原発の 3～30km 圏内の地域に屋内退避を指示しました。あなたは、この情報を 3 月 11 日から 4 月 30 日までの間に入手しましたか。(○は 1 つ) (N=19,535)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 入手した (63.2%) | } ⇒ 問 20 へお進みください |
| 2. 入手しなかった (23.3%) | |
| 3. 覚えていない・わからない (10.5%) | |

(無回答 3.1%)

問 19 (問 18 で「1」とお答えの方に伺います。)

あなたは、平成 23 年 3 月 11 日から 4 月 30 日までの間に、次のような行動をしましたか。(○はいくつでも) (N=12,340)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 屋内退避した (59.9%) |
| 2. 食料や水などのまとめ買いをした (22.6%) |
| 3. 子どもを外に出さないようにした (24.1%) |
| 4. 家の換気扇、暖房を使わないようにした (19.3%) |
| 5. 特別なことは何もしなかった (18.5%) |
| 6. その他(具体的に) (11.3%) |

(無回答 13.8%)

全員の方に伺います。

問 20 あなたは、放射性物質のスクリーニング(汚染検査)を受けましたか。(○は 1 つ) (N=19,535)

- | |
|--------------------------------|
| 1. スクリーニングを受けた (63.4%) |
| 2. スクリーニングを受けなかった (29.7%) |
| 3. スクリーニングが何かわからない・知らない (3.0%) |
| 4. 覚えていない (1.6%) |

(無回答 2.3%)

問 21 あなたは、震災後 1 か月の間に「ヨウ素剤」を受け取りましたか。(○は 1 つ) (N=19,535)

- | |
|------------------------------|
| 1. ヨウ素剤をもらい、服用した(3.6%) |
| 2. ヨウ素剤をもらったが、服用しなかった (3.5%) |
| 3. ヨウ素剤をもらわなかった (76.9%) |
| 4. ヨウ素剤が何かわからない・知らない (10.4%) |
| 5. 覚えていない (2.1%) |

(無回答 3.5%)

平成 23 年 3 月 11 日～4 月 30 日の間の、ご家族の状況についてお教えてください。

問 22 震災発生直前に同居していたご家族をお教えてください。(〇はいくつでも) (N=19,535)

1. 配偶者 (71.3%)
2. 子 (58.5%)
3. 父 (15.7%)
4. 母 (27.7%)
5. 祖父 (2.0%)
6. 祖母 (4.2%)
7. 孫 (13.7%)
8. 兄弟姉妹 (6.2%)
9. その他の親族 (3.0%)
10. その他(具体的に: (3.5%)
11. 同居していた人はいない (8.6%)

(無回答 0.6%)

問 23 (問 22 で「1」～「10」とお答えの方に伺います) (N=17,728)

その人数をお教えてください。

同居していた人数(本人含む)

(平均 4.01 人)

1 人 (1.8%)	6 人 (9.4%)
2 人 (23.1%)	7 人 (5.3%)
3 人 (21.5%)	8 人 (2.2%)
4 人 (19.7%)	9 人 (0.9%)
5 人 (13.0%)	10 人以上 (1.1%)

(無回答 2.1%)

問 24 平成 23 年 3 月 11 日時点から平成 23 年 4 月 30 日までの間に、同居していたご家族の家族構成に変化はありましたか。(〇は 1 つ) (N=19,535)

1. 期間中に変化があった (49.2%)
2. 期間中に 1 度も変化がなかった (46.6%) ⇒ 問 32 へお進みください

(無回答 4.1%)

問 25 (問 24 で「1」とお答えの方に伺います)

平成 23 年 3 月 11 日から 4 月 30 日までの間に、一緒に暮らさなくなったご家族はいますか。(〇は 1 つ) (N=9,620)

1. いる (81.1%)
2. いない (17.5%) ⇒ 問 27 へお進みください

(無回答 1.5%)

問 26 (問 25 で「1」とお答えの方に伺います)

それは、なぜですか。(〇はいくつでも) (N=7,799)

1. 避難を開始する時に一緒にいなかったから (29.8%)
2. 避難先に全員が入れなかったから (18.2%)
3. 家族全員が同じ車両に乗れず、結果として違う場所に避難したから (13.2%)
4. 家族と連絡を取り合うことができなかったから (15.0%)
5. 家族の意見が一致したから (8.8%)
6. 家族の意見が分かれたから (12.5%)
7. 仕事上(避難者支援や事故対策等)、避難できない人が家族にいたから (34.3%)
8. 避難することが難しい家族(在宅医療患者等)がいたから (7.6%)
9. ペットの面倒を見る人が必要だったから (7.4%)
10. 家畜の面倒を見る人が必要だったから (2.3%)
11. 防犯上の事情から自宅に誰かを残す必要があったから (1.9%)
12. 放射線の影響が不安だから (13.9%)
13. その他(具体的に: (21.4%)

仕事の事情 (7.9%)
入院・病気等のため (2.9%)
学校のため (1.9%)
震災による死別 (1.3%)
若い家族や女性だけ避難 (1.3%)
避難先の事情 (1.2%)

(無回答 1.3%)

問 27 (問 24 で「1」とお答えの方に伺います) (N=9,620)
 平成 23 年 3 月 11 日から 4 月 30 日までの間に、一緒に暮らすようになったご家族はいますか。

1. いる (42.4%) 2. いない (51.5%) → 問 29 へお進みください
 (無回答 6.1%)

問 28 (問 27 で「1」とお答えの方に伺います)
 それは、なぜですか。(〇はいくつでも) (N=4,078)

1. 避難を開始する時にたまたま一緒にいなかったただだから (18.5%)
 2. 避難を開始する時にたまたま連絡を取り合えなかったただだから (11.2%)
 3. 家族の意見が一致したから (19.9%)
 4. 一緒に避難できなかった家族や自分の仕事(避難者支援や事故対策等)が一段落したから (12.1%)
 5. 避難することが難しかった家族(在宅医療患者等)の居住環境が整ったから (5.7%)
 6. ペットを受け入れる環境が整ったから (4.1%)
 7. 家畜の世話をする環境が整ったから (0.7%)
 8. 家畜の世話をあきらめたから (0.7%)
 9. 避難生活が長期化しそうだと感じたから (21.5%)
 10. 家族と一緒に過ごせる避難先が見つかったから (29.8%)
 11. 家賃負担等の軽減が必要になったから (5.8%)
 12. その他(具体的に: (24.6%)
- (無回答 5.5%)
- 避難先が親戚の家 (5.2%)
 友人・近所の人と避難 (4.2%)
 親戚の避難を受け入れたから (3.0%)
 避難先からの帰還 (1.4%)
 出産 (1.0%)

問 29 (問 24 で「1」とお答えの方に伺います)
 平成 23 年 4 月 30 日時点で同居していたご家族をお教えてください。(〇はいくつでも) (N=9,620)

1. 配偶者 (53.2%)
 2. 子 (50.2%)
 3. 父 (12.7%)
 4. 母 (22.9%)
 5. 祖父 (2.2%)
 6. 祖母 (4.0%)
 7. 孫 (13.1%)
 8. 兄弟姉妹 (9.1%)
 9. その他の親族 (8.0%)
 10. その他(具体的に: (4.3%)
 11. 同居していた人はいない (9.7%)
- (無回答 10.1%)

問 30 (問 24 で「1」とお答えの方に伺います)
 平成 23 年 4 月 30 日時点で、同居していたご家族の人数をお教えてください。 (N=9,620)

同居していた人数(本人含む) (平均 3.82 人)

- 人 1 人 (9.8%) 6 人 (6.9%)
 2 人 (18.4%) 7 人 (3.6%)
 3 人 (18.3%) 8 人 (2.1%)
 4 人 (14.9%) 9 人 (1.1%)
 5 人 (10.2%) 10 人以上 (2.4%)
 (無回答 12.1%)

問 31 (問 24 で「1」とお答えの方に伺います)
 平成 23 年 3 月 11 日から 4 月 30 日までの間に、家族構成が変わったことで困ったことは何ですか。(〇はいくつでも) (N=9,620)

1. さびしくなった (45.1%)
 2. 将来の見通しが立たなくなった (44.8%)
 3. 通院等のサポートが得にくくなった (12.4%)
 4. 家事の負担が増した (22.7%)
 5. 生活費の負担が増した (44.7%)
 6. その他(具体的に: (17.2%)
 7. 困ったことはなかった (9.2%)
- (無回答 11.1%)

Ⅲ. 平成23年5月1日から現在にかけての状況について伺います。

全員の方に伺います。

問 32 平成23年5月1日から現在までの間に、あなたは原発事故のために移動(避難)しましたか。
(○は1つ) (N=19,535)

1. 移動(避難)した(74.8%) ⇒問 33 へお進みください
2. 移動(避難)していない(23.8%) ⇒問 35 へお進みください

(無回答 1.4%)

問 33 (問 32 で「1」とお答えの方に伺います)

平成23年5月1日から現在までの間の移動(避難)について伺います。

(N=14,610)

1. この間に何箇所の移動(避難)先に行きましたか。箇所数をお答えください。(例えば、7か所の移動(避難)先に行った場合は「7」とお答えください。)

この間に

(平均 2.29 か所)

か所の移動(避難)先に行った

- 1 か所 (37.1%)
2 か所 (28.8%)
3 か所 (14.2%)
4 か所 (6.7%)
5 か所 (4.3%)
6 か所 (2.0%)
7 か所 (1.8%)
8 か所以上 (1.1%)
無回答 (3.9%)

2. 移動(避難)先について以下の質問にお答えください。

- (1)まず、移動(避難)先の住所とその場所についてお答えください。6か所以上の方は、主な移動(避難)先5つ(滞在期間の長かった移動(避難)先や大幅な移動を伴った移動(避難)先など)についてお答えください。なお、現在のお住まいを最後の移動(避難)先としてください。

移動(避難)先の住所
(市町村名を記入)
〔※注〕

移動(避難)先の場所
(右の選択肢から
番号1つを記入)

選択肢

記入例

(福島市)

(1)

	1 か所目	2 か所目	3 か所目	4 か所目	5 か所目
1 か所目	選択肢 (避難先) N=12,866	N=7,638	N=3,887	N=2,014	N=1,113
2 か所目	1 4.8%	2.9%	2.4%	2.8%	3.1%
	2 8.5%	6.3%	7.0%	5.8%	3.9%
3 か所目	3 9.5%	7.7%	9.8%	7.8%	4.9%
	4 2.6%	2.9%	3.6%	3.9%	1.5%
	5 8.4%	7.3%	8.2%	9.5%	7.0%
4 か所目	6 21.0%	25.3%	21.8%	23.0%	26.9%
	7 19.1%	20.7%	18.5%	19.3%	20.6%
	8 1.8%	5.7%	7.2%	4.8%	7.5%
5 か所目	9 12.7%	10.4%	11.0%	12.1%	11.1%
	10 11.6%	10.8%	10.6%	10.9%	13.7%

1. 事故発生時に住んでいた自宅
2. 祖父母、親、子供又は孫の家
3. 親戚の家
4. 知人の家
5. 宿泊施設
6. 行政が用意した住宅(仮設住宅等)
7. 事故後に入居した借家
8. 事故後に入居した持ち家
9. 避難所
10. その他

※注：福島県外の場合も市町村名のみで結構です

- (2)次に、それぞれの移動(避難)先に着いた時期についてお聞きします。

(年・月を記入)

記入例 (平成 23年 8月頃)

	時 期	1 か所目 N=8,189	2 か所目 N=5,711	3 か所目 N=2,814	4 か所目 N=1,571	5 か所目 N=1,079
1 か所目	平成 年 月頃					
	平成23年5月～6月	48.1%	23.9%	19.6%	22.4%	18.2%
	平成23年7月～12月	38.1%	40.7%	36.5%	37.2%	39.7%
2 か所目	平成 年 月頃					
	平成24年1月～6月	6.4%	12.3%	13.0%	13.2%	10.5%
	平成24年7月～12月	3.2%	8.6%	10.1%	9.9%	11.5%
	平成25年1月～6月	2.4%	6.9%	9.7%	7.2%	8.2%
3 か所目	平成 年 月頃					
	平成25年7月～12月	1.4%	5.9%	8.5%	7.8%	9.0%
	平成26年1月～5月	0.3%	1.8%	2.6%	2.3%	3.1%
4 か所目	平成 年 月頃					

問 34 (問 32 で「1」とお答えの方に伺います)

その際、特に困ったことは何ですか。(〇はいくつでも) (N=14,610)

1. どこに移動(避難)すればよいかについての情報がなかった (33.1%)
 2. 行政から移動(避難)に関する情報が得られなかった (28.5%)
 3. 介護が必要だったり、障がいや持病を持つ家族がいて容易に移動(避難)できなかった (12.0%)
 4. 防犯のために留守宅の管理が必要だった (6.6%)
 5. 家畜や農作物への対応が必要だった (2.5%)
 6. ペットへの対応が必要だった (15.3%)
 7. 仮設住宅が満杯で入居できなかった (5.4%)
 8. 仮設住宅に入居できる時期の見通しが立たなかった (16.6%)
 9. 希望する条件に合う賃貸住宅を見つけるのが大変だった (43.3%)
 10. その他(具体的に: (17.3%)
- (無回答 12.4%)

平成 23 年 5 月 1 日～現在の間の、ご家族の状況についてお教えてください。

全員の方に伺います。

問 35 平成 23 年 5 月 1 日から現在までの間に、同居していたご家族の家族構成に変化はありましたか。(〇は 1 つ) (N=19,535)

1. 期間中に変化があった (50.6%)
2. 期間中に 1 度も変化がなかった(47.2%) ⇒問 43 へお進みください

(無回答 2.2%)

問 36 (問 35 で「1」とお答えの方に伺います)

平成 23 年 5 月 1 日から現在までの間に、一緒に暮らさなくなったご家族はいますか。(〇は 1 つ) (N=9,889)

1. いる (81.9%)
2. いない (16.7%) ⇒問 38 へお進みください

(無回答 1.4%)

問 37 (問 36 で「1」とお答えの方に伺います)

それは、なぜですか。(〇はいくつでも) (N=8,097)

1. 家族の意見が分かれたから (15.4%)
2. 家族の意見が一致したから (8.9%)
3. 自分や家族の仕事の都合があったから (49.5%)
4. 子どもの学校の都合があったから (21.4%)
5. 家族の通院や介護の都合があったから (12.3%)
6. ペットの面倒を見る人が必要だったから (5.8%)
7. 家畜の面倒を見る人が必要だったから (1.0%)
8. 防犯上の事情から自宅に誰かを残す必要があったから (1.6%)
9. 移動先に全員が入れなかったから (13.3%)
10. 放射線の影響が不安だから (17.0%)
11. その他 (具体的に: (24.7%)

死別 (9.3%)
結婚・出産・進学等 (2.7%)
仕事 (2.4%)
避難先の事情 (2.1%)
病気・健康悪化 (1.7%)
離別 (1.0%)

(無回答 2.4%)

問 38 (問 35 で「1」とお答えの方に伺います)

平成 23 年 5 月 1 日から現在までの間に、一緒に暮らすようになったご家族はいますか。(〇は 1 つ) (N=9,889)

1. いる (33.1%)
2. いない (61.1%) ⇒問 40 へお進みください

(無回答 5.8%)

問 39 (問 38 で「1」とお答えの方に伺います)

それは、なぜですか。(〇はいくつでも) (N=3,272)

1. 家族の意見が一致したから (22.4%)
2. (別々に暮らす理由となっていた) 自分や家族の仕事の都合が解消されたから (24.1%)
3. (別々に暮らす理由となっていた) 子供の学校の都合が解消されたから (10.2%)
4. 移動することが難しかった家族(在宅医療患者等)の居住環境が整ったから (6.6%)
5. ペットを受け入れる環境が整ったから (4.8%)
6. 家畜の世話をする環境が整ったから (0.7%)
7. 家畜の世話をあきらめたから (0.5%)
8. 避難生活が長期化しそうだと感じたから (21.2%)
9. 家族と一緒に暮らせる住宅が見つかったから (26.5%)
10. 家賃負担等の軽減が必要になったから (6.1%)
11. その他 (具体的に: (31.9%)

出産 (9.4%)
結婚 (4.0%)
仕事 (2.3%)

(無回答 5.2%)

問 40 （問 35 で「1」とお答えの方に伺います）

現在、同居しているご家族をお教えてください。（〇はいくつでも）（N=9,889）

1. 配偶者(56.1%)
2. 子 (44.2%)
3. 父 (6.5%)
4. 母 (14.6%)
5. 祖父 (0.7%)
6. 祖母 (1.7%)
7. 孫 (7.3%)
8. 兄弟姉妹 (2.4%)
9. その他の親族 (1.3%)
10. その他（具体的に：(2.8%)
11. 同居している人はいない (14.3%)

（無回答 9.1%）

問 41 （問 35 で「1」とお答えの方に伺います）

現在、同居しているご家族の人数をお教えてください。（N=9,889）

同居している人数（本人含む）

（平均 2.93 人）

1 人 (12.7%)	6 人 (3.2%)
2 人 (28.4%)	7 人 (1.3%)
3 人 (19.8%)	8 人 (0.5%)
4 人 (14.2%)	9 人 (0.2%)
5 人 (7.0%)	10 人以上 (0.1%)
（無回答 12.7%）	

問 42 （問 35 で「1」とお答えの方に伺います）

平成 23 年 5 月 1 日から現在までの間に、家族構成が変わったことで困ったことは何ですか。

（〇はいくつでも）（N=9,889）

1. さびしくなった(48.2%)
2. 将来の見通しが立たなくなった (35.7%)
3. 通院等のサポートが得にくくなった (8.8%)
4. 家事の負担が増した (23.9%)
5. 生活費の負担が増した (44.4%)
6. その他（具体的に：(12.5%)
7. 困ったことはなかった (12.5%)

（無回答 11.9%）

IV. 現在のお住まいについてお聞きます。

全員の方に伺います。

問 43 現在のあなたの住まいの所有形態についてお答えください。(○は1つ) (N=19,535)

1. 持ち家(区分所有を含む) (24.2%)
2. 行政の提供する仮設住宅 (16.3%)
3. 行政による借上住宅・公営住宅(家賃を自己負担していないもの) (37.0%)
4. 公営住宅(家賃を自己負担しているもの) (1.2%)
5. 祖父母、親、子供又は孫の家 (2.8%)
6. 親戚の家 (1.0%)
7. 知人の家 (0.2%)
8. 借家・民間賃貸住宅(家賃を自己負担しているもの) (9.9%)
9. 給与住宅(社宅、社員寮、公務員住宅など) (2.1%)
10. 避難所 (0.7%)
11. その他(具体的に: (2.3%))

(無回答 2.3%)

問 44 現在のあなたのお住まいは、震災発生直前に住んでいた市町村内にありますか。(○は1つ) (N=19,535)

1. はい(事故発生時に住んでいた自宅) (19.4%)
2. はい(上記以外) (6.8%)
3. いいえ (69.5%)
→現在お住まいの市町村名をお答えください()
※注: 福島県外の場合も市町村名のみで結構です

⇒問 46 へ
お進みください

(無回答 4.3%)

問 45 (問 44 で「1」、「2」とお答えの方に伺います) (N=5,117)
あなたが、その市町村内に戻って暮らすようになった理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 戻っても安全だと思ったから (21.9%)
2. 行政の避難の指示等が緩和されて不安感が減ったから (15.8%)
3. 放射性物質による汚染は問題ないと思ったから (8.8%)
4. まわりの人が元の自宅や地域に戻って暮らすようになったから (25.0%)
5. 経済的な負担を軽減したかったから (23.4%)
6. 市町村内の仮設住宅に入居することができたから (11.9%)
7. もともと住んでいた自宅や地域に愛着があったから (34.3%)
8. 移動先の地域で暮らしにくかったから (14.9%)
9. 家族の仕事の都合があったから (29.1%)
10. 子供の学校の都合があったから (10.6%)
11. その他(具体的に: (17.6%))

(無回答 10.6%)

V. 感じたこと・感じていることについてお聞きします。

問 46 放射線と健康に関する情報について、困ったと思ったことや不安だと感じたことは何ですか。(〇はいくつでも) (N=19,535)

1. 外部被ばくの情報（土壌等の放射能汚染の情報） (60.9%)
2. 内部被ばくの情報（食品等の放射能汚染の情報） (62.9%)
3. 自身の健康への影響 (52.8%)
4. 子どもの健康への影響 (50.5%)
5. 高齢者の健康への影響 (26.7%)
6. 妊娠・出産への影響 (17.6%)
7. 何にどのように気をつけるべきか分からないこと (37.9%)
8. 何が科学的に正しい情報なのか分からないこと (54.7%)
9. 誤った知識による差別 (34.4%)
10. 自分の暮らす地域が安全かどうか (46.4%)
11. 安全になる時期の見通しが立たないこと (60.5%)
12. 農林水産業への影響 (33.7%)
13. なんとなく不安だと感じた (21.1%)
14. その他（具体的に： (7.7%))
15. 困ったと思ったことや不安だと感じたことはない (2.8%) (無回答 2.5%)

(N=19,535)

問 47 今回の事故で、あなたが政府に対して不満に感じたことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 事故対応が後手に回り、適切な措置がとれていないこと (79.3%)
2. 事故時の情報伝達が適切でなかったこと (80.8%)
3. 原子力事業者への監督が不十分だったこと (59.8%)
4. 住民の安全確保に関する適切な情報提供がなかったこと (71.4%)
5. 今後の避難解除、復旧に対する見通しがたっていないこと (63.8%)
6. 除染の計画が遅れていること (62.3%)
7. 原発事故の再発防止策が不十分であること (60.2%)
8. 問合せ窓口が不明確であること (27.5%)
9. その他（具体的に： (13.7%))

(無回答 3.3%)

問 48 今回の事故を踏まえ、今後の大規模災害への教訓として残しておくべきことや、その他のようなことでも構いませんので、感じたことを教えてください。

VI. 震災当時と現在の仕事についてお聞きします。

全員の方に伺います。

問 49 震災当時(平成 23 年 3 月 11 日時点)、あなたが同居されていたご家族の中で最も収入の多かった方(主たる生計者)は、どのような形で働いていましたか。(〇は 1 つ) (N=19,535)

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1. 自営業主 (16.3%) | } ⇒ 問 52 へお進みください |
| 2. 家族従業者 (1.8%) | |
| 3. 役員(会社経営者等) (3.8%) | |
| 4. 雇われている者<公務員を含む>(役員を除く) (49.8%) | |
| 5. 休職中・失業中 (2.1%) | |
| 6. 仕事をしていなかった(年金、その他の収入あり) (16.1%) | |
| 7. 仕事をしていなかった(学生、主婦など、収入なし) (1.3%) | |
| 8. その他(具体的に : (2.6%)) | |

(無回答 6.2%)

問 50 (問 49 で「1」～「4」とお答えの方に伺います)

震災当時(平成 23 年 3 月 11 日時点)のその方のお仕事は、どの業種でしたか。兼業の場合は、主な収入源となっていた業種をお答えください。(〇は 1 つ) (N=14,004)

- | | | | |
|-----------------|-------------------|-------------------------------|----------------|
| 1. 農林水産業 (9.0%) | 4. 運輸通信業 (3.6%) | 7. 金融保険業 (1.4%) | 10. 公務 (8.3%) |
| 2. 建設業 (18.4%) | 5. 電気ガス水道業 (5.9%) | 8. 不動産業 (0.8%) | 11. その他 (9.3%) |
| 3. 製造業 (13.7%) | 6. 卸売小売飲食店 (4.7%) | 9. その他のサービス業 (具体的に : (13.9%)) | |

(無回答 10.9%)

問 51 (問 49 で「1」～「4」とお答えの方に伺います)

現在、その方のお仕事は、どのようになっていますか。(〇はいくつでも) (N=14,004)

- | | | |
|---------------------------|-------------------|---------------|
| 1. 震災前と同じ仕事をしている (45.2%) | 3. 無職 (15.2%) | 5. 失業中 (8.8%) |
| 2. 震災前と異なる仕事をしている (15.4%) | 4. 休職中・休業中 (8.6%) | |

(回答なし 11.7%)

全員の方に伺います。

問 52 震災前(平成 22 年)と比べて、現在(平成 25 年)の年間の収入と支出(世帯の合計)はどうなりましたか。(〇はそれぞれ 1 つ) なお、賠償金は含めないでください。

収入(賠償金は含めない) (N=19,535)	支出 (N=19,535)
1. 収入は増えた(約 割増) (3.7%)	1. 支出は増えた(約 割増) (46.8%)
2. あまり変わらない (32.6%)	2. あまり変わらない (21.8%)
3. 収入は減った(約 割減) (37.5%)	3. 支出は減った(約 割減) (4.1%)
4. 収入がなくなった (18.2%) (無回答 8.0%)	(無回答 27.4%)

(N=19,535)

問 53 事故発生した時点での原子力産業との関係について、お答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|-----------|
| 1. 本人又は家族が事故発生時点で関連企業に勤務していた (19.2%) | } (40.2%) |
| 2. 本人又は家族が事故発生以前に関連企業に勤務していた (9.7%) | |
| 3. 本人又は家族の取引先が関連企業だった (4.4%) | |
| 4. 親戚・親しい友人が事故発生時点で関連企業に勤務していた (23.6%) | |
| 5. 親戚・親しい友人が事故発生以前に関連企業に勤務していた (11.3%) | |
| 6. 本人、家族・親戚・親しい友人に事故発生時点又は以前に関連企業に勤務していた人はいない (40.2%) | |

(無回答 14.1%)

VII. 最後に、あなたご自身について伺います。

問 54 あなたの性別をお答えください。(〇は 1 つ) (N=19,535)

(無回答 2.2%)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 男性 (67.3%) | 2. 女性 (30.4%) |
|---------------|---------------|

問 55 震災当時(平成 23 年 3 月 11 日時点)の、あなたの年齢をお答えください。(〇は 1 つ) (N=19,535)

- | | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 1. 10 代 (0.4%) | 3. 30 代 (12.0%) | 5. 50 代 (20.9%) | 7. 70 代 (15.5%) |
| 2. 20 代 (4.2%) | 4. 40 代 (12.8%) | 6. 60 代 (25.2%) | 8. 80 代以上 (7.1%) |

(無回答 1.9%)